

### 環境調査結果のお知らせ

令和8年4月1日11時から野見湾の環境調査を実施しました。

#### 概況

検鏡の結果、主に麻痺性貝毒の原因種とされるアレキサンドリウム属が最高で10 cells/mL確認されました。アレキサンドリウム属は、100 cells/mLに達すると二枚貝を毒化させる可能性があり、過去には当該プランクトンによると推察される麻痺性貝毒が発生するとともに、養殖マダイやカンパチでも被害が確認されたことがあります。

当該プランクトンは、今後増殖する可能性がありますので、十分注意してください。

また、アカシオ・サングイネアが最高で1,380 cells/mL確認されました。現在、湾内で広範囲に発生している赤潮（着色）は、本種によるものと考えられます。アカシオ・サングイネアは魚類に対して無害とされていますが、赤潮が終息に向かうと海水中の酸素が消費されて貧酸素水塊が発生することがありますので、注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	アカシオ・ サングイネア	アレキサンドリウム 属
	(m)	(°C)		(mg/L)		
A ガラク (4.5m) 【11:59】	0	18.8	32.8	8.0	10	0
	2	19.1	33.8	7.7	50	0
	5	19.2	34.2	7.1	20	0
	底層 10	19.2	34.2	7.2	0	0
B 勢井 (2.9m) 【12:11】	0	18.8	33.1	9.5	170	0
	2	19.2	33.9	8.6	240	0
	5	19.2	34.1	7.6	0	10
	10	19.1	34.2	7.7	10	0
底層 19.5	18.8	34.4	7.6	0	0	
C 馬の背 (1.5m) 【12:22】	0	18.8	32.5	11.5	1,380	0
	2	19.1	33.7	8.0	760	0
	5	19.1	34.1	7.3	50	10
	10	19.1	34.2	7.7	10	10
底層 20	18.9	34.4	7.6	10	0	
D 大室戸 (3.5m) 【11:45】	0	19.1	33.1	8.7	760	10
	2	19.2	33.5	8.5	340	0
	5	19.1	34.1	7.5	160	0
	10	19.2	34.2	7.4	80	0
底層 17.5	19.0	34.3	7.7	0	0	
E 湾奥ブイ (1.8m) 【11:28】	0	18.7	31.8	11.4	1,050	0
	2	19.2	33.0	9.6	160	0
	5	19.1	34.1	7.9	0	0
	10	19.1	34.2	8.0	0	0
底層 15.5	18.8	34.4	7.9	0	0	